



MLP ウィークリー

2017年6月第2週号(2017年6月13日発行)
2017年6月9日時点
(1週間前=6月2日、前月末=5月末、前四半期末=3月末、前年末=2016年12月末)
なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

■先週のS&P MLP 指数の動き

先週のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前週末比▲1.3%と3週連続での下落となりました。5日(月)は、原油価格は下落したものの、MLPは、前週末に開催されたMLPコンファレンスで、経営陣が今年後半のファンダメンタルズについて総じて楽観的であったことから小幅高となりました。6日(火)は、米原油在庫が9週連続で減少するとの見方の拡がりなどから原油価格が反発したこと、そして、証券会社のレポートでパイプライン企業などの中流セクターの割安感が指摘されたことなどから、MLPは続伸しました。しかしながら7日(水)は、週間統計において、米原油在庫が予想に反して増加に転じたこと、そして、武装勢力の攻撃を受けて輸出を停止していたナイジェリアの主要施設からの原油輸出再開が発表されたことなどが嫌気され、原油価格が急落する中、S&P MLP 指数は前日比▲2.0%と週の中で最も大きく下落し、8日(木)も続落しました。9日(金)は、原油価格が下げ止まる中、MLPも小幅反発して週末を迎えました。

■主要指標の動き

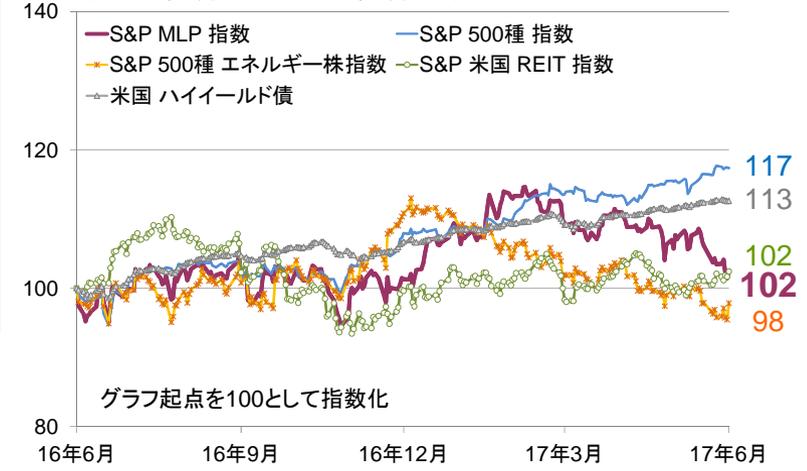
* 過去1年(2016年6月9日~2017年6月9日)

	指数値	騰落率				過去1年*	
		2017/6/9	週間	前月末比	前四半期末比	前年末比	高値
S&P MLP 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	4,648.57	-1.3%	-1.6%	-7.6%	-4.2%	5,220.31	4,305.11
プライスリターン	1,632.24	-1.3%	-1.6%	-9.2%	-7.3%	1,874.92	1,566.42
S&P 500種 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	4,689.79	-0.3%	0.9%	3.3%	9.6%	4,702.56	3,781.02
プライスリターン	2,431.77	-0.3%	0.8%	2.9%	8.6%	2,439.07	2,000.54
S&P 500種 エネルギー株指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	830.61	2.1%	1.6%	-4.7%	-11.1%	959.65	805.91
プライスリターン	486.49	2.1%	1.5%	-5.4%	-12.3%	569.85	474.73
S&P 米国 REIT 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	1,204.95	0.3%	1.9%	1.0%	1.6%	1,297.23	1,099.20
プライスリターン	313.62	0.3%	1.8%	0.5%	0.1%	349.03	292.58
米国ハイイールド債 (BofA Merrill Lynch・米国ハイイールド・マスターII・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,232.19	-0.1%	0.1%	2.2%	4.9%	1,233.90	1,078.12
プライスリターン	79.03	-0.2%	-0.0%	0.9%	2.1%	79.20	73.46
米国10年国債利回り							
	2.20%	0.04	-0.00	-0.19	-0.24	2.62%	1.35%
原油 (WTI) 米ドル/1バレル当たり							
	45.83	-3.8%	-5.2%	-9.4%	-14.7%	54.45	39.51
天然ガス (ヘンリーハブ) 米ドル/百万btu当たり							
	2.98	5.1%	-0.7%	-4.0%	-19.2%	3.76	2.03
米ドル(対円)							
	110.34	-0.1%	-0.4%	-0.9%	-5.7%	118.18	99.89

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

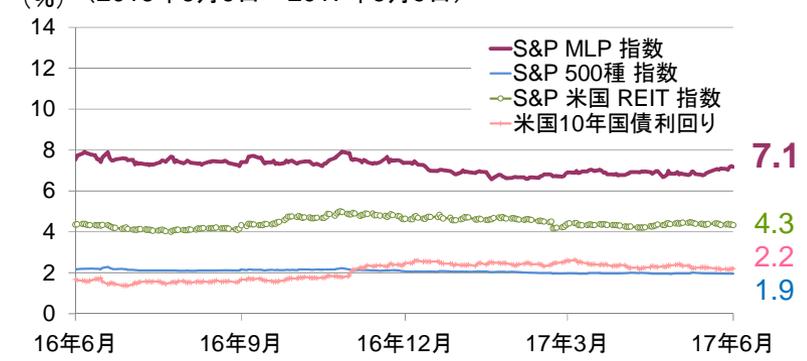
■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

(2016年6月9日~2017年6月9日)



■各資産の利回り

(%) (2016年6月9日~2017年6月9日)



※ 「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界の経済、金融・資本市場についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する見解は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



facebook twitter で、
経済、投資の最新情報をお届けしています。